

第2回 室内試験規格・基準委員会 WG6 (ジオシンセティックス) 議事録

日時	平成20年2月1日 14:00~17:00
場所	地盤工学会本部 3階小会議室
参加者	木幡(室蘭工大)、平井(三井化学産資)、棕木(熊大)、中村(苫小牧高専)、平川(東京理科大)、宮田(防大)、矢島(明星大)、榊尾(太陽工業)、原(太陽工業)
欠席者	加納(ネオ・ルーフィング)、竜田(前田工織)、篠田(鉄道総研) 連絡受(棕木)

報告

1. 前回の議事録の確認(棕木)
2. 基準委員会の議事録の説明(平井) 目次案は提出。ジオテキ関係の試験法のISOを地盤工学会で購入したので、その目次を確認。データシートも各ワーキングで作成依頼。赤本の一時的原稿を3月まで遅れない(資料2-3)
3. 学会のHP(<http://www.jiban.or.jp/organi/bu/kijyunbu/kouji.html>)に公示された原稿に関する説明(資料2-4と2-5(平井))。
4. スケジュールの説明(資料2-6、2-7、2-8の説明(平井))。
5. 目次の説明(資料2-9)。

審議事項

6. IGSの試験法委員会のテーマにJIS用語を入れる。WG6の委員会ではJISは扱わない。JIS化するとは、ISOと整合性を取る。
7. 公示後に修正箇所を修正。用語はJISにあわせた修正がいい。陰イオン界面活性剤 非イオン界面活性剤に修正。
8. HPにアップされているPDFの元原稿となるWORDファイルを配信し、(平井・伊佐治 棕木 各委員) ファイルの誤字を修正していく(現在手配中)。
9. ASTMのD35の目次を(伊佐治 日向 棕木 各委員) 巻内、西形、林先生らに現状報告(木幡委員長:4月末)
IGSのコーポレートメンバーに情報を流し、意見を収集する(原本PDFを平井副委員長 榊尾委員 コーポレートメンバー)。
10. 英訳のスケジュールの確認(5月中に原稿提出) ネイティブチェックは、各SubWGでは扱わない。
11. 原稿執筆要領の説明(資料2-10) 赤本の書式の説明からの修正。書式をあわせる。例えば、参考文献をチェック。
12. HP上へのアップロード、ダウンロードの説明(資料2-11)。棕木がSub dirを作成。

- 13 . 目次より担当者の決定：各 SubWG で担当を決定。
第1章（木幡、篠田（英訳））
第2章（平井（英訳）、木幡）
第3章（宮田、加納、棕木（英訳））
第4章（原、榊尾、宮田、棕木（英訳））
第5章（中村（英訳）、篠田、竜田、矢島、平川）
第6章（中村、篠田（英訳）、竜田、矢島、平川）
ページ数：最大68ページ。
- 14 . データシートはISOタイプに合わせてシンプルに作成する。
- 15 . 参考文献のチェック（偏りがないように気をつける。）
- 16 . 得られた実験結果がどのように使用されるのかまで説明する。
- 17 . 各章でMAX12ページまで書く。

その他

2月中にIGS委員会報告書（棕木 平川まで）